



# 学校だより

平成30年度 1月号

～ひとがすき まちがすき いわさきの子～  
横浜市立岩崎小学校 電話 331-5123

FAX 331-5343



## 平成最後の正月に

校長 杉原 龍司

あけましておめでとうございます。平成31年が始まりました。今年もどうぞよろしくお願いいたします。

さて、今年の冬休みは12月22日からと、例年にも増して長い冬休みでしたが、いかがだったでしょうか。この冬休みは、平成最後の大晦日、平成最後のお正月、と「平成最後の・・・」というフレーズを多く耳にしたのではないのでしょうか。今年の5月1日より新しい年号が始まりますし、テレビや新聞などのメディアがそこで平成の30年を振り返る特集などをするものですから、どうしても平成の30年間の出来事を思い返してしまいます。平成をまとめると、どういう言葉になるのだろうか・・・新聞の特集を見ながら考えていたのですが、なかなか一言では言い表し難い気がします。まだ平成ですから、客観的にとらえられないということもあるのかもしれませんが、阪神・淡路に東日本と続く大震災、オウム真理教の一連の事件・・・。「戦争」の影が濃かった昭和の時代と違って、平和な時代であったはずなのに、何か予想外の事柄も多く起こって、平穏無事だったとは言い難いようにも思います。昨年を表す漢字は「災」だそうですが、何か平成を象徴している文字のような気もしてきます。

小学校は、俗に言う「読み書きソロバン」といった基本的な学習はもとより、挨拶をしっかりする、自分に分担された仕事を最後まで責任をもってやる、悪いことをしたら謝る、といった様々な人生を生きていく上で基礎的な事柄を教わるところです。5月から始まる次の年号・時代はどんな時代になるかは、誰にもわかりませんし、平成と同様に様々な思いもよらぬ出来事が起こるかもしれませんが、将来どんな時代になっても生きていくための基礎を子どもたちには小学校時代に身に付けてほしいと思います。ITによって社会は急激に変化して、今あるいくつかの職業はそのITに取って代わられるとも言われていますが、どんな職業が将来残るかを考えるより、将来どんな職業でも対応できる力をつけることが大切ではないでしょうか。学校でいえば、人型ロボットが正しいことを教えることができたとしても、子どもがやる気をもつとか、充実感をもつとかは、別の問題です。子どもの顔色を見て先生が声をかけるとか、休み時間にみんなとたわいもない話をするとか、そういったことの中で人間関係や信頼関係は構築されていきます。そういったITでは難しい(いずれできるようになるのかもしれませんが、それはずっと先のことでしょう)まさに人でなければできないこと、それをしっかりできることこそが、次の時代を生きるために必要なことであると思います。別にオールマイティーである必要はありません。小学校で、今学んでいること、即ち先に述べたようなことをしっかり身に付ける、そのことが新しい時代の、いやIT時代に向けての基礎力ではないかと思います。

さて、今年の12月は例年より気温が高かったこともあってか、幸いにして岩崎小学校では、インフルエンザやノロウィルスの流行も見られませんでした。しかし流行が本格化するのはこれからの季節です。学校でも子どもたちにうがい・手洗いの励行や十分な栄養の摂取と休養の大切さを伝えております。どうかご家庭でもお子さんの健康状態に十分ご留意の上、これからのシーズンを乗り切っていただけたらと思います。本年もどうぞよろしくお願いいたします。